

## 芥川講座

2月15日

### ～川と仲良く付き合うために～

筑波大学の白川直樹准教授と国立研究開発法人土木研究所自然共生研究センターの坂本貴啓専門研究員をお招きし講座を開催しました。参加者は30人でした。白川さん（右写真）のお題は「良い川の流量とは」です。



川の水は誰のものかと問いかけても。適度な流量の変動を川に残そうとする「環境流量」という考え方の中で、良い川とは、一つは「目的を達成する川」、例えば鮭の数を増やせるような川が良い川。もう一つは「自然に近い川」。自然に流量が増える時は増やし、減る時は減らす。出来るだけ自然の多様性や変動性を保持するのが良い、という考え方です。芥川では、アユをシンボルに多様な生き物のすむ川が目標なので、両方の良い川を目指していると言えます。

坂本さん（下写真）は、各地の市民による川づくり活動を評価するため、全国109水系の河川を歩き、定量化（Σ活動人数×時間）。その経験をもとに「市民主導の川づくりの価値」と題し、地域の特色ある川づくりについて紹介いただきました。ちなみに芥川の活動量は2,366で全国195団体の中で断然上位でした。



また、どこの団体にも「会員の高齢化」や「毎年の活動の疲れ」等の課題があり、その対策として「世代別会員枠制」を導入し世代交代を進めるなど、工夫を凝らした川づくりの事例についても紹介いただきました。

### ～芥川でアユを見つけよう！ ボランティア大募集！！～

芥川にアユが棲んでいることを皆さん知っていますか？芥川大橋上流の堰に魚みちがあって、淀川から芥川の上流に向かって体長5cmくらいのかわいいアユが元気に上っています。昨年はなんと約5,300匹ものアユが芥川を上っているんです。今年もどれだけのアユが上るのか、アユを数える調査に参加しませんか？お気軽に皆さんの参加をお待ちしています。



調査期間：4月下旬～6月末  
9：00～15：00  
調査場所：芥川大橋上流の堰の魚みち（高槻市芝生町2丁目地先）  
調査方法：ボランティア調査員2名で魚みちを通過する魚を目視でカウント  
応募条件：ボランティア保険に加入（費用：主催者負担）  
問合せ：茨木土木事務所 地域支援・防災G（TEL:072-627-1121）

芥川倶楽部では、川づくりや各種イベントと一緒に参加してくれる方を募集しています。イベント等の情報は下記の芥川倶楽部ブログにて、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。

ブログ：<http://akutariv.blog85.fc2.com/> HP：<http://akutagawaclub.web.fc2.com/>  
e-mail：[akutagawa0726@yahoo.co.jp](mailto:akutagawa0726@yahoo.co.jp)

～～～「芥川」はみんなの川です「芥川」をきれいにしましょう ゴミを捨てないようにしましょう～～～

### ～第15回クリーンアップ大作戦～

天然のアユが遡上する前に“大掃除”を実施します！清掃活動後は、おいしいまかないつき！皆さんの参加をお待ちしています。

令和2年3月7日（土）10時～12時（雨天決行）

集合

下の地図の

●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「第15回淀川・芥川クリーンアップ大作戦」は、中止となりました。

詳細

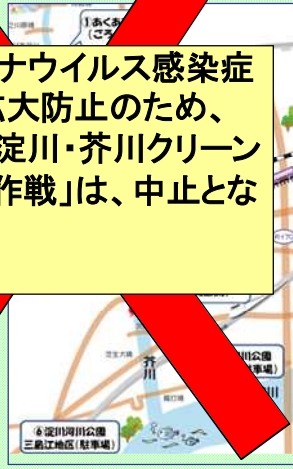
情報は

倶楽部

<http://akutariv.blog85.fc2.com>

にてご

確認ください。



### ～令和2年度 事業のお知らせ～

今年度も芥川を中心に様々な活動を行っています。活動にぜひご参加ください。

4月～6月 アユの遡上調査  
6月14日 あくあひあふれあいフェスタ  
7月4日 ネットワーク総会  
7月18日 お父さんのための魚とり講座

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

# 芥川水辺だより



Vol.36  
2020年  
春号



## 芥川かわまちづくり 大蔵司橋上流右岸側に遊歩道が完成

令和2年  
1月完成

令和2年1月、大蔵司橋の上流右岸側に新しく遊歩道が整備されました。これは、平成26年度から続いている芥川かわまちづくりの一環であり、この遊歩道の整備をもって今年度ついに芥川かわまちづくりが完了となりました。

芥川かわまちづくりでは、遊歩道の整備だけでなく、魚みちの整備も行い、多くの魚を上流まで遡上できるようにし、魚が生息できる範囲を拡大しました。

当初は、魚みちの効果を確かめるために、土のうで実験的に魚みちを試作し、最適な魚みちの形状を模索し、議論を重ねました。

魚みちは川の流れによって土砂などが少しずつ堆積するため、現在も定期的にメンテナンス作業を行い、魚の通り道を確保しています。

遊歩道ができたことにより、芥川に生息する生き物や魚みちを楽しみながら、摂津峡公園から桜堤公園まで芥川沿いを連続して歩くことができます。

ぜひ皆さんも一度遊歩道を歩いて、芥川の良さを発見してみてください。

編集・構成 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川倶楽部～

事務局：NPO法人 芥川倶楽部 ホームページ <http://akutagawaclub.web.fc2.com/> ブログ <http://akutariv.blog85.fc2.com/>  
令和2年（2020年）3月 発行：高槻市 都市創造部 下水河川企画課 TEL 072(674)7432

●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協同団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●



### 芥川のアユ

4月下旬頃から芥川のアユのぼりはじめ、10月頃に産卵を迎えるまで芥川で過ごします。魚みちの整備により、摂津峡公園付近までのぼることができるようになり、芥川のみちでアユを食けるようになりました。

### 魚みちづくり

平成16年に芥川の下流でアユが産卵されたことをきっかけに、天然アユを芥川にのぼらせる取組が始まりました。芥川橋南側が中心となり、産卵は人力で土のうを積み、魚みちを作りました。こうした地道な取組が、現在の恒久的な魚みちの整備につながりました。



「芥川かわまちづくり」では、平成26年から令和元年にかけて門前橋から塚脇橋の区間を対象に、河川整備を行いました。  
 「芥川頭首工」「清福寺落差工」「下井出堰」「川島井堰」「田刈用水井堰」には魚みちを設置、門前橋から大蔵司橋の左岸側、大蔵司橋から水管橋の右岸側には遊歩道を整備しました。  
 遊歩道の整備により、市民のみなさんには芥川をより身近に感じ豊かな自然に触れあっていただくことができ、新たに設置された魚みちによって魚をはじめとする生き物が自由に行き来できるようになり、多様な生態系を育てていきます。

**清福寺落差工 魚みち**  
 対岸を越え渡り石と階段があり、魚みちをのぼる魚を確実に見ることができます。

**芥川頭首工 魚みち**  
 魚のぼり口がわかりやすい引込堀の魚みちです。

**下井手堰 魚みち**  
 川橋全体が魚みちになっています。

**川島井堰 魚みち**  
 石で囲まれたつろつろ状の小プールが畑田のように湧流している魚みちです。様々な速さの流れができ、魚が自分の泳ぐ能力に合わせてみちを選ぶことができます。

**整備された遊歩道**  
 芥川沿いに点在する公園へのアクセスを確保するため、遊歩道を整備しました。これにより、摂津峡公園から桜堤公園まで連続して歩くことができます。

**田刈用水井堰 魚みち**  
 石で囲まれた小プールが連続している魚みちです。下流部は中央に階段状のプールが設けられています。

～～かわまちづくり事業には、行政、河川管理者、市民団体が一緒になって取り組んできました～～

### 大阪府 茨木土木事務所

芥川の川づくりは、平成18年に芥川倶楽部、高槻市、大阪府が作成した「芥川創生基本構想」に、川づくりの考え方、魚みちの取組が明記されており、これまで、魚みちの実験的設置（JR橋梁下流、桜堤公園など）やアユの遡上調査、生物調査、環境学習などさまざまな活動を行ってきました。

今回の「かわまちづくり」では、「芥川創生基本構想」の流れを受け継ぎ、魚みちの設置は、基本構想の目標である摂津峡までを対象とし、市民、高槻市、大阪府、学識経験者が連携して設計から施工まで取り組むことが出来ました。

平成31年に設置した魚みちは「こわさ魚道」と呼ばれるもので、全国的にも施工例が少なく、専門家や市民と協働で試行錯誤しながら

工事を行いました。石を設置する際は水を締め切って実施しますが、いざ水を流すと思う方向に水が流れず、石の配置や大きさに苦慮するなど、やり直すこともありました。今は、苦勞の甲斐あって、たくさんの魚の遡上が確認され、嬉しい限りです。

遊歩道の設置にあたっては、近隣の方々とも話をしながら、関係者一丸となって工事を完成させることができました。今回の工事により、芥川沿いの遊歩道が桜堤公園から摂津峡公園までつながることになりました。

これらの施設は設置すれば終わりではなく、その機能を維持し、活用していくことが重要であり、末永く魚みちや遊歩道が、芥川のシンボルとなるよう、引き続き、市民・高槻市と連携して、川づくりを進めていきたいと考えています。

### 高槻市 都市創造部 下水河川企画課

皆様のご協力をいただき、ついに魚みちと遊歩道を整備することができました。これにより芥川に生息する生き物や植物を楽しみながら、摂津峡公園から桜堤公園まで芥川沿いを連続して歩くことができるようになりました。

今後、整備箇所を活用したイベントの実施など、多くの方が芥川に親しめるような企画を市民協働で考えていきますので、ぜひご参加いただき、新たな高槻の魅力を発見していただければと思います。

### NPO法人 芥川倶楽部

この度の遊歩道整備で連続区間が延伸したのは大変うれしいことです。近年、健康志向もあって、芥川沿いをジョギングやウォーキングする人が増えていますから、愛好家には喜ばれていることだと思います。道の連続性に加えて、安全に歩けることが条件だと思います。そして、四季の芥川や周囲の自然の移ろいを楽しめることも魅力です。

淀川から摂津峡までのルートを考えてみると、まだ数か所自動車道路を横断するとか橋の下をくぐれない箇所もあります。理想を言えば、途中で歩ける水辺をゆっくり眺められるベンチも欲しい、夏の日差しを遮る並木が欲しい箇所もあります。子どもたちには桜堤公園付近で毎年ゲンジボタルの乱舞が楽しめたことを思う時、今後は“遊歩道の質”を向上させていきたいですね。